

ベルナルド・ベルトルッチ

Bernardo Bertolucci

生年月日 1940/03/16

出身地 イタリア／パルマ

没年 2018/11/26

アドリアーナ・アスティ（元妻）

関連人物 クレア・ペプロー（元妻）

ジュゼッペ・ベルトルッチ（弟）

【バイオグラフィ】

■詩人で批評家であった父親の影響で、幼い頃から詩を書くが、中学時代から映画にも興味を抱く。ジャン＝リュック・ゴダール監督の「勝手にしやがれ」に衝撃を受け、本格的に映画監督を目指すようになる。詩が縁でピエル・パオロ・パゾリーニと親交を持つようになり、62年にパゾリーニが撮る予定だった「殺し」で監督デビューを果たした。以後、「暗殺のオペラ」、「ラストタンゴ・イン・パリ」など問題作を発表。大作「1900年」でイタリアにおけるファシズムの誕生から崩壊までを描ききった。87年の「ラストエンペラー」でアカデミー賞9部門を受賞、世界の巨匠としての地位を築いた。クレア・ペプローやアドリアーナ・アスティと結婚したがいずれも離婚に至っている。ジュゼッペ・ベルトルッチは弟。

【フィルモグラフィ】

モリコーネ 映画が恋した音楽家 (2022)	出演
水と砂糖のように (2016)	出演
孤独な天使たち (2012)	監督, 脚本
ストーリー・オブ・フィルム (2011)	出演
マーロン・ブランドのすべて (2007)	出演
ドリーマーズ (2003)	監督
キアヌ・リーブス リローデッド・フォー・サクセス (2003)	出演
10ミニッツ・オールダー イデアの森 (2002)	監督, 脚本
愛の勝利 (2001)	製作, 脚本
アルマーニ (2000)	出演
シャンドライの恋 (1998)	監督, 脚本
魅せられて (1996)	監督
リトル・ブッダ (1993)	監督, 原案
シェルタリング・スカイ (1990)	監督, 脚本
ラストエンペラー／オリジナル全長版 (1987)	監督, 脚本
ラストエンペラー (1987)	監督, 脚本
ある愚か者の悲劇 (1981)	監督, 脚本
ルナ (1979)	監督, 脚本
1900年 (1976)	監督, 脚本
ラストタンゴ・イン・パリ (1972)	監督, 脚本
暗殺の森 (1970)	監督, 脚本
暗殺のオペラ (1969)	監督, 脚本

愛と怒り (1969)

監督

ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ザ・ウェスト (1968)

原案

ベルトルッチの分身 (1968)

監督, 脚本

ウエスタン (1968)

原案

革命前夜 (1964)

監督, 脚本

殺し (1962)

監督, 脚本